

# ICT 活用指導力と個人特性における協働学習に対する意識の変容

中尾 早紀(10112071)

## 1. はじめに

これからの子どもたちには、他者と協働して新たな考え方を創造する力が求められている。また、教員には学習者らの円滑な協働学習を支援する力量が必要となる。しかしながら、すべての教員が協働学習を取り入れた授業を効果的に展開できるとは言い難い。効果的な協働学習を支援するためには、指導する立場である教員自身の個人特性が影響することが想定される。また、清水 (2014) は ICT 活用指導力と協働学習の実施には何らかの関係があることを示した。そこで、本研究は教員養成課程学生を対象に、個人特性による協働学習に対する意識の変容を明らかにすることを目的とした。なお、筆者は個人特性を分類する尺度として「ICT 活用指導力チェックリスト (文部科学省 2006)」、「協同作業認識尺度 (長濱ら 2009)」、「対人恐怖心性尺度 (堀井ら 1997)」を用いた。

## 2. 方法

教員養成課程学生の個人特性を ICT 活用指導力や対人恐怖心性、協同作業に対する意識によって分類し、ICT を活用した協働学習を実践した。さらに、分類した個人特性を要因として協働学習に対する意識の変容について検討した。

本研究は、図 1 の手順で実施した。調査の対象は、長崎大学教育学部 1 年生 48 名 (有効回答: 43 名) であった。授業内容は、班ごとによるタブレット端末を用いた調べ学習 (学びのイノベーション事業実証研究報告書: 文部科学省) であった。また、調べた内容についてタブレット端末から無線でスクリーンに提示し、情報を共有した。



図 1 調査の概要

## 3. 結果・考察

本研究から得られた結果の概要として、ICT 活用指導力が高い被験者は、ICT を活用した協働学習を体験することで、協働学習に対する意識が高まることになった。一方、ICT 活用指導力が高い被験者は、本実践を体験しても協働学習に対する意識は変容しなかった。また、対人恐怖心が高い被験者は、事前調査では協働学習に対する意識が低かった。しかし、ICT を活用した協働学習を体験することで、協働学習に対する意識が高まり、対人恐怖心が低い被験者と同等になることが示された。なお、協同作業に対する嗜好性によって、協働学習に対する意識の変容はなかった。

図 2 は、協働学習に対する意識の変容と ICT 活用指導力 A (教材研究・指導の準備・評価などに ICT を活用する能力) についての分析結果の一部である。「協働学習における児童生徒の活動を支援できる」の項目における分散分析の結果、「ICT 活用指導力」と「協働学習の情意」の交互作用は有意であった ( $F(1,41)=4.99, p<.01$ )。そこで、「ICT 活用指導力」の単純主効果を分析した結果、事前調査には有意な差はなく ( $F(1,41)=0.50, n.s.$ )、事後調査において ICT 活用上位群が有意に高かった ( $F(1,41)=13.18, p<.01$ )。また、「協働学習の情意」の単純主効果を分析した結果、ICT 活用上位群は、事前調査と比較して事後調査の平均値が向上した ( $F(1,41)=4.68, p<.05$ )。

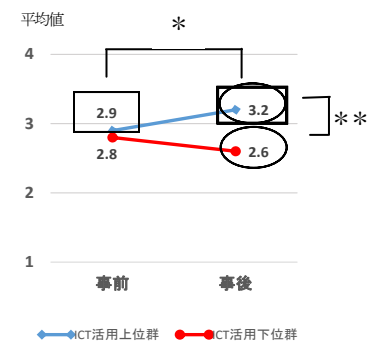


図 2 ICT 活用指導力による意識の変容

## 4. まとめ

本研究では、長崎大学教育学部生を対象に ICT を活用した協働学習の授業を実践し、個人特性の観点から協働学習に対する意識の変容について評価した。その結果、ICT 活用指導力が高い被験者は、ICT を活用した協働学習を体験することで、協働学習に対する意識が高まることになった。また、対人恐怖心が高い被験者は、ICT を活用した協働学習を体験することで、協働学習に対する意識が高まり、対人恐怖心が低い被験者と同等になることが示された。以上の結果から、協働学習に対する意識の変容には、個人特性が関与していることが明らかとなった。したがって、協働学習を支援するための、教師の力量形成について個人特性を考慮した多角的なアプローチが必要である。

今後の課題は、協働学習に対する意識の変容について調査・分析を継続し、教員養成に寄与できる効果的な授業実践を考案することである。

## 参考文献

- 清水康敬 (2014) 1 人 1 台端末の学習環境の動向と研究. 日本教育工学論文誌 38(3) : 183-192
- 文部科学省 (2006) ICT 活用指導力チェックリスト [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/1296901.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1296901.htm) (参照日 2016.01.27)
- 長濱文与, 安永悟, 関田一彦 (2009) 協同作業認識尺度の開発. 教育心理学研究 57(1) : 24-37
- 堀井俊章, 小川捷之 (1997) 対人恐怖心性尺度の作成(続報). 上智大学心理学年法 (21) : 43-51

(指導教員 瀬戸崎 典夫: 初等教育講座)